

平成28年12月12日  
 四国電力株式会社

## 伊方発電所における通報連絡事象（平成28年11月分）および 通報連絡事象に係る報告書の提出について

平成28年11月に、当社から愛媛県ほか関係自治体に通報連絡した事象は以下の1件です。本事象は、法律に基づく報告事象に該当するものではなく、また、環境への放射能の影響もありませんでした。

事 象	発生日	発表月日	県の公表区分
1. 伊方発電所1、2号機 187kV母線保護リレーの異常について	11月14日	-	C

過去に発生した以下の通報連絡事象について、その後の調査結果を踏まえた原因と対策をとりまとめ、愛媛県ほか関係自治体に報告書を提出いたしました。

事 象	発生日	発表月日	県の公表区分
1. 伊方発電所2号機 余熱除去系統ベント弁下流配管溶接部のほう酸析出事象について	8月31日	9月1日	B

県の公表区分 A：即公表  
 B：48時間以内に公表  
 C：翌月10日に公表

- (別紙1) 伊方発電所における通報連絡事象の概要（平成28年11月分）
- (別紙2) 伊方発電所における通報連絡事象の報告書概要

以 上

## 伊方発電所における通報連絡事象の概要（平成28年11月分）

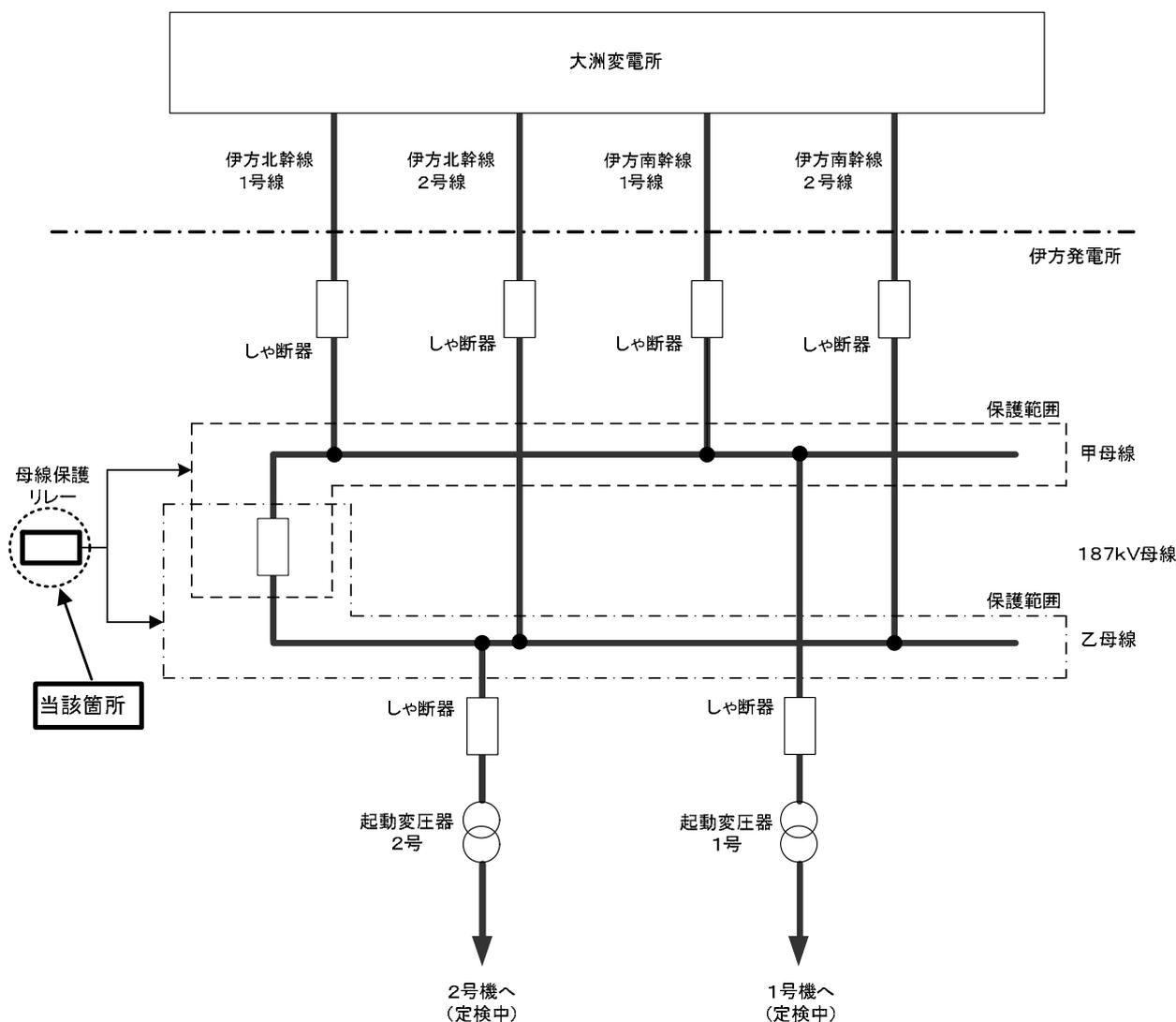
## 1. 伊方発電所1、2号機 187kV母線保護リレーの異常について

11月14日、伊方発電所1、2号機の中央制御室において、187kV母線保護リレーの異常を示す信号が発信したことから、保守員が現地確認を行い、13時30分頃、制御カードの異常を確認しました。

その後、当該制御カードを予備品に取替え、187kV母線保護リレーに異常の無いことを確認し、11月16日8時53分、通常状態に復旧しました。

今後、当該制御カードが故障した原因を調査します。

## 伊方発電所1、2号機 送電線の概略系統図



## 伊方発電所における通報連絡事象の報告書概要

## 1. 伊方発電所 2号機 余熱除去系統ベント弁下流配管溶接部のほう酸析出事象について

## 事 象

第23回定期検査中の伊方発電所2号機の原子炉補助建家（管理区域内）において、余熱除去冷却器A出口配管のベント弁の下流側配管にほう酸と思われる付着物が認められたため、液体浸透探傷検査を実施したところ、8月31日15時頃、同配管の溶接部にひび割れがあることを保修員が確認しました。

配管の付着物を分析した結果、付着物はほう酸であり、配管内のほう酸水が溶接部のひび割れからにじみ出て、乾燥したものと推定しました。

その後、ひび割れのあった当該配管を取り替え、漏えいのないことを確認し、11月22日、通常状態に復帰しました。

本事象によるプラントへの影響および環境への放射能の影響はありませんでした。

## 液体浸透探傷検査

材料表面に液体を塗布し、目視では確認できないような微細な傷を検出する検査。

## 原 因

調査の結果、配管溶接部のひび割れは、プラント長期停止期間のため、余熱除去冷却器をバイパスする系統での運転を長期間実施したことにより、当該配管に大きな振動が発生したことによるものと推定されました。

## 対 策

- ・本事象が発生した余熱除去系統において、同様に振動影響を受けた可能性のある他のベント・ドレン配管について、外観確認により異常のないことを確認しましたが、念のためベント・ドレン弁下流配管を新品に取り替えました（3箇所）。
- ・プラント長期停止期間中においても、当該配管に大きな振動が発生しないように、余熱除去冷却器も通水する系統で運転を行う運用に変更します。

伊方発電所 2号機 余熱除去系統概略図

